

八溝山シロヤシオ希少個体群保護林

希少-13

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 棚倉森林管理署
所在地	福島県東白川郡矢祭町
面積	43.59 ha
設定年	1993(H5)年
保護林の概要 (設定目的)	尾根筋に、シロヤシオが群生して生育し、南東北及び関東地方において、他には類を見ない群落で、学術上貴重である。このため、シロヤシオが群生する群落の希少な個体群を保護するため設定した。



ミズナラ群落(2019.07.11撮影)



シロヤシオ群落(2019.07.11撮影)

モニタリング調査概要

実施年度	2009年、2014年、2019年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、シロヤシオが群生する生育地において調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	シロヤシオは斜面部ではミズナラ林の低木～亜高木層に生育し、尾根上では林冠を形成している。いずれの個体も生育は良好である。ニホンジカが生息しない地域とされてきたが、新たに生息・繁殖が確認されたため、保護林内のニホンジカの生息状況を引き続き把握する必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。